

V302b **すざく衛星搭載 CCD カメラ XIS 検出器の高エネルギー帯域における較正精度の評価**

楠絵莉子, 辻本匡弘, 和田師也, 水本岬希 (ISAS/JAXA), 他 XIS チーム

すざく衛星に搭載されている軟 X 線検出器 XIS (X-ray Imaging Spectrometer) は、撮像と分光を同時に行うことのできる X 線 CCD カメラである。機器性能としてのエネルギー帯域は 0.2–12 keV であるが、これまで 10 keV 以上のデータに対しては較正精度の評価が不十分であった。そのため、多くの場合でこの帯域のデータは科学解析に使用されてこなかった。

そこで今回、我々は XIS の高エネルギー帯域データの使用可能性を検証するため、まず 10–14 keV の帯域における較正精度の現状を確認した。次に、3–79 keV に感度をもつ NuSTAR 衛星との同時観測データを解析し、スペクトルを比較した。その結果、10 keV 以上の高エネルギー帯域においても、XIS のデータは NuSTAR の結果と整合性が取れており、科学的に使用可能であると判断することができた。本講演では、今回行った解析の詳細について報告する。